

狭さく部の上流が氾濫、



天龍峡狭さく部上流の浸水状況(飯田市川路・龍江・竜丘) 信濃毎日新聞社 提供

支川は天竜川に流れ込む 合流部で堤防の決壊、越水。

昭和36年6月、梅雨前線の停滞に伴い23日から降り始めた雨は、台風第6号の接近とともに26日から集中的な豪雨に変わり、27日には降雨量がピークに達しました。

各所の土砂災害とそれによる大量の流出土砂のため、狭さく部の上流が氾濫、支川は天竜川に流れ込む合流部で堤防の決壊や越水、下流部では河床が一時的に上がって堤防の越流が引き起こされました。